

千住の街を彩る、魅力ポイント

宿場町として栄えてきた歴史や下町の文化をもつ千住を肌で知るためには、街中を歩いてみるのが一番です。

「蔵」や「銭湯」などが点在しており、ショッピングを楽しみながら魅力あるポイントを探してみてもいいでしょう…千住ならではの発見があるはず。そして街歩きに疲れたら、ちょっとひと休みするのにピッタリな



「甘味処」や「酒場」がお待ちしております。気軽に立ち寄れる安くて美味しいお店が多いので、よりどりみどりに気に入りのお店を見つけてください。

時代の流れを感じる千住の商店街

千住には時代を感じる点があるポイントがたくさんあります。そのうちのひとつが商店街。北千住駅西口付近には駅ビルや大型店舗、でも一歩まちに足を踏み入ると、昭和レトロな商店街が続きます。そんな下町のぬくもりを感じながら、コロッケをかじってみるのも悪くないと思いませんか？



千住宿

品川宿、板橋宿、内藤新宿と並んで江戸四宿に数えられた千住宿。江戸時代に人口1万を数え、多くの人が行き交っていました。日光街道の初宿であった千住宿は、宿場組合の取締役をつとめたり、荷物の重量をチェックする貫目改所も設置されていました。



千住のおぼけ煙突

見る角度によって煙突が4本から1本まで変わって見えるため“おぼけ煙突”として親しまれました。その後、煙突の一部が小学校のすべり台として生まれ変わり、現在は帝京科学大学(千住桜木2-2-1)の敷地内でモニュメントを見ることができます。



歩くつめだち 千住編



足立観光交流協会
イメージキャラクター
“てる丸くん”



あだち観光ネット

平成 26 年 12 月 第六版発行
発行・企画 / 足立区観光交流協会
制作・デザイン / (株) 昂 イラスト / なかだえり 印刷 / (株) 昂
※本パンフレットのデータは、平成 26 年 11 月現在のものです。
※本パンフレット掲載記事・写真・イラスト等の無断複製(コピー)・複製・転載を禁じます。

【千寿七福神めぐり】

縁起のいい七福神を祀った神社7ヶ所、ぐるりとめぐって2~3時間。めぐれば一年間七難除いて七福を招くと、人気の散策コースになっています。

※各神社の御朱印を集めよう！

(御朱印の実施期間は通常元日から7日のみ)

- | | | |
|---|----------------|------------|
| 1 | 千住本氷川神社(大黒天) | 千住3-22 |
| 2 | 大川町氷川神社(布袋尊) | 千住大川町12-3 |
| 3 | 元宿神社(寿老神) | 千住元町33-4 |
| 4 | 千住神社(恵比寿天) | 千住宮元町24-1 |
| 5 | 八幡神社(毘沙門天) | 千住宮元町3-8 |
| 6 | 千住河原町稻荷神社(福祿寿) | 千住河原町10-13 |
| 7 | 仲町氷川神社(弁財天) | 千住仲町48-2 |



【うまいものや】

“てくてく”歩いていると、色々なお店に出会うことができます。甘味処に蕎麦屋、ゆったりくつろげる喫茶店など飽かささせません。夕方ともなれば、下町飲み屋街にたくさんの人が吸い込まれていきます。路地裏に思いがけなくお洒落なお店があったりします。



気になるお店

かどや(槍かけだんご)
石黒のあめ
喫茶 蔵

歩こう あだち 千住編

見る!聞く!感じる!
千住の「旬」を紹介



【水と緑のまち】



A 千住大踏切から荒川土手までの桜並木
北千住駅、京成関屋駅または牛田駅から徒歩5分、約800mにわたる桜のトンネル。

柳原千草園 柳原1-21-26
下町の中に在りながら樹木に囲まれた園内は、四季折々の花や紅葉などの自然を楽しむことができます。
🍷 ロウバイ、サンシュユ、サクラ類、スイセン
🌸 ハナイカダ、ナンジャモンジャ、アジサイ、アメリカデイゴ
🌻 カエデ類、ハギ、ススキ



【足立の花火】

千住新橋の開通を記念して行われた「千住の花火」が始まりです。荒川河川敷で、夜空を彩る1万発以上の花火が打ち上げられます。



【あだち区民まつり】

(A-Festa)

毎年10月中旬、荒川河川敷「虹の広場」をメイン会場に開催されます。ステージショーやスタンプラリー、物産展など楽しいコーナー盛りだくさんです。

芸術のまち The town of art

🟢 **【シアター1010】** 千住3-92 千住ミルディスI 番館10F~11F
701席の劇場で、演劇やミュージカルなどの芸術文化情報を発信中。劇場の他、ギャラリー、アトリエ、稽古場があります。
《問合せ先》 ☎03-5244-1010

🟣 **【東京芸術センター】** 千住1-4-1
スタジオ、シネマなどがあり、昔なつかしの映画も上映されています。21-22Fには、眺望を取り込む天空劇場があります。
《問合せ先》 ☎03-5354-4388



【千住のまつり】

毎年9月中旬に、旧日光街道付近の千住地区で行われる祭り。

千住地区には各町に神輿があり、祭礼の日に町を練り歩きます。宵宮には千住五町会の神輿の連合渡御(とぎよ)もあります。また、4年に一度は、大祭として千住神社の大神輿の渡御が行われます。





よこやま けじゅうたく 【横山家住宅】

千住4-28-1
※見学は外観のみ



旧地漉紙問屋「松屋」横山家の家屋は江戸時代後期の建築で、商家の面影をいまに伝えています。庇の柱に残っている傷痕は官軍と戦った彰義隊士が刀で斬りつけたものといわれています。



駄洒落に合わせた滑稽な絵を描いた地口絵紙も味わい深い。

えまや よしだけ 【絵馬屋・吉田家】

千住4-15-8
※見学は外観のみ

江戸時代後期から際問屋として絵馬・地口絵紙・風などを描いてきた、当代で8代目という老舗吉田家。東京で数少ない手描きの絵馬屋です。



せんじゅ まち えき 【千住街の駅】

千住3-69

千住の街なかで、気軽に休憩ができたり、足立の街情報を知ることのできる、ちょっと昭和レトロな雰囲気のお休み処です。

千住街の駅は、来訪者や学生、地域の方々が出会い、人や街と繋がっていくための場所として皆様の来館をお待ちしております。

せんじゅじゅくほんじんあと 【千住宿本陣跡】 千住3-33

大名が参勤交代などを行う際に宿泊する場所を、本陣といいました。現在の千住3丁目にあり、いまは路地裏にその当時を語った説明板があるのみ。



しょうせんじ 【勝専寺】 千住2-11



「おえんさま」の愛称で親しまれている赤顔赤腹のえんさま坐像は、高さ約1.8mの木造で全身が朱の漆で塗られています。1月と7月の15・16日にある「えんさま開き」の縁日は大勢の参拝客で賑わいます。



きつせい どうもり いんあと 【橋井堂森医院跡：森隠外】

千住1-30-8

「舞姫」などで知られる明治の文豪 森鴎外の住居跡。1879年頃に父静男が橋井堂医院を開業し、およそ2年後鴎外自身も医師として医療活動をおこなったといわれています。この頃は、小説「カズイステカ」に描写されています。なお、この場所に石碑が立てられていましたが、都税事務所移転に伴い、現在は撤去されています。(平成26年11月末現在)



せんじゅじゅくれきし 【千住宿歴史プチテラス】

千住河原町21-11

江戸時代の蔵をそのままに、無料貸し出しギャラリーとして活躍しています。入口にはやっちゃば(青果市場)の跡地であることがわかる案内板があります。<問合せ先> みどり推進課 ☎03-3880-5188



歩むあだち〈千住編〉 「宿場のなごりを歩こう！」



「千住の魚河岸」 あだちしじょう 【足立市場】 千住橋戸町50

千住大橋駅から徒歩5分のところにある水産物専門市場。一般の人でも、一部の店舗で買い物をする事ができ、正門詰所には、見学者用のしおりもあります。市場内の食堂なども自由に入れるので、ぜひ素材の新鮮さを味わってみて！



おく ほそみち や たてはじ ひ 【奥の細道 矢立初めの碑】

千住橋戸町31 大橋公園内



俳文紀行「奥の細道」で知られる松尾芭蕉は、1689年、千住で船を上がり奥の細道600里へと旅立ちました。芭蕉旅立ちの地として建てられた碑には、芭蕉がこの地で詠んだとされる「行春や鳥啼魚の目は泪」の句が記されています。



せき どう び じゅつかん 【石洞美術館】

千住橋戸町23

世界各地の土器や陶磁器、仏像、青銅器などを収蔵しています。千住に因んだ作品として葛飾北斎や歌川広重の錦絵などもあります。

<問合せ先>
☎03-3888-7520



千住宿商店街

- 1 千住緑町商店会
- 2 千住えびす会
- 3 千住大門商店街振興組合
- 4 大門商店街会
- 5 千住大正通り商店会
- 6 北千住昭和会
- 7 千住中央会
- 8 千住ニコニコ商店会
- 9 千住いろは通り商店会
- 10 ハッピーロード商店会
- 11 かもん宿商店街
- 12 千住本町商店街振興組合
- 13 北千住駅西口美観商店街振興組合
- 14 サンロード宿場通り商店街
- 15 北千住サンロード商店街
- 16 北千住サンロード商店街振興組合
- 17 ミリオン通り商店街
- 18 千住旭町商店街振興組合
- 19 千住東町商店会
- 20 柳原商栄会
- 21 日ノ出町商店街

【蔵のまち 千住】

千住のまちには、たくさんの「蔵」があります。アトリエや喫茶店として活躍しているところもあり、眺めているとその佇まいに心落ち着きます。



【昭和レトロ散歩】

なつかしいあの日にタイムスリップ。TVドラマ「3年B組金八先生」のロケ場所である荒川土手や堀切駅を通過して、柳原千草園で憩いのひととき。その後は、柳原や旭町の商店街でレトロ散歩を楽しんでください。西口とはまた違う千住の顔に出会えます。



で表されている千住西部は、明治、大正、昭和の遺産が集中している地域で、この時代の特徴を色濃く残しています。